

次号予告

特集 光時代の情報流通サービス

光ソフトサービスビジョン	岡田和比古 (N T T)
コンテンツ分野から見た光サービス	久保田靖夫 (大日本印刷)
情報家電・ホームネットワークと光サービス	浅部 勉 (松下電器産業)
通信ネットワーク業界から見た光サービス	田中公紀 (N T T)
業界連携を推進する光コンソーシアム	渡部直也 (N T T)

編集後記

●今年の4月から編集委員をさせていただいています。OR学会員になって22年が経ちますが、これまでは気軽な一読者であったのが一転し、身の引き締まる思いの毎日です。皆様のお役に立てる紙面作りに少しでも貢献できたらと思っています。

●さて今年も余すところ2ヶ月となってしまいました。会員諸兄にとって、21世紀最初の年である2001年ほどどのような年であったでしょうか？ 世紀末であった昨年以上に、激動の年であり、政治/経済、企業/大学、…まさに「世界大転換」の開始年になってしまったと私は感じています。

●このような中で今回の特集は、「2001年の金融工学」を取り上げました。こちらは20世紀の最後の20年に急成長を遂げた代表的な分野の一つです。私も入会当時にはこの分野がOR研究の大きな柱になるとは想像もつきませんでした。しかしながら、今野先生がご指摘のように、本分野は実は、「豊富なORの応用

分野」であり、本号をきっかけに新たな研究者が増えることを期待しております。

●先日、世界を震撼させる大事件が起きました。世界の金融の中心地、米国NYにある世界貿易センタービルに旅客機が激突し、ビルは炎上、崩壊してしまいました。この影響でNYSEも4日間閉鎖。週明けのNY市場は急落して始まりました。世界各国が協調して種々の金融施策を打っていますが、本誌が皆様のお手元に届く頃はどのような状況になっているのでしょうか。是非ともORの活用によって影響を最小限に食い止めてもらいたいものです。ひょっとすると金融分野においてORの重要性が広く認識されるきっかけになっているかも知れません。20世紀にORは戦争の為の作戦研究として発展しました。21世紀のORは金融分野をはじめとして世界の平和と繁栄のための研究となってもらいたいと期待しています。果たして2001年はORにとっても大転換の年になるのでしょうか？ (中川義之)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 上田 徹(成蹊大学) 副委員長 高橋敬隆(早稲田大学)

委員 大澤義明(筑波大学)、大屋隆生(財電力中央研究所)、小沢利久(駒澤大学)、北澤英理子(東京ガス株)、中川慶一郎(株NTTデータ)、中川義之(株住友金属システムソリューションズ)、生田日崇(東京理科大学)、並木 誠(東邦大学)、難波和明(東京理科大学)、原 裕淳(株東芝)、平山克己(北九州市立大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成13年11月号 第46巻 第11号 通巻491号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 上田 徹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ